



(証券コード: 5162)

2010年3月期 決算説明会



2010年5月20日

1 . 2010年3月期 決算の実績

2 . 2011年3月期 決算の見通し

3 . 2011年3月期以降の成長戦略

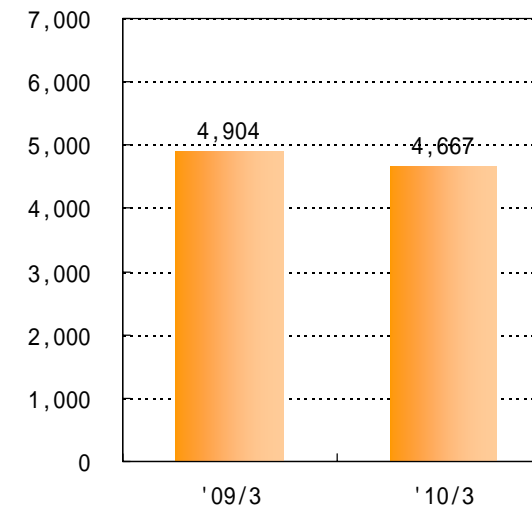
連結決算実績

(単位:百万円、%)

	2009年3月期		2010年3月期		
		構成比		構成比	前期増減率
売上高	4,904	100.0	4,667	100.0	4.8
売上総利益	968	19.8	1,069	22.9	10.4
営業利益	46	1.0	125	2.7	168.9
経常利益	14	0.3	91	2.0	548.2
当期純利益	80	-	41	0.9	-

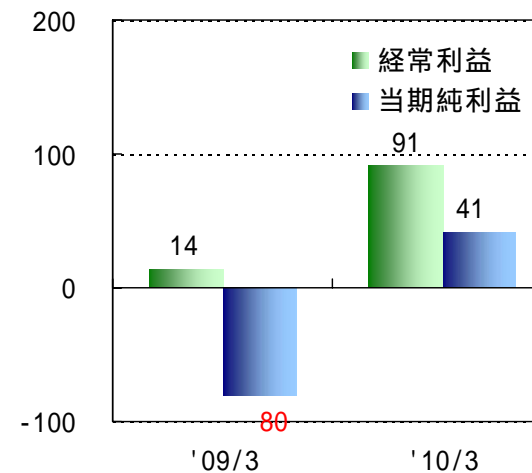
(単位:百万円)

連結売上高実績



(単位:百万円)

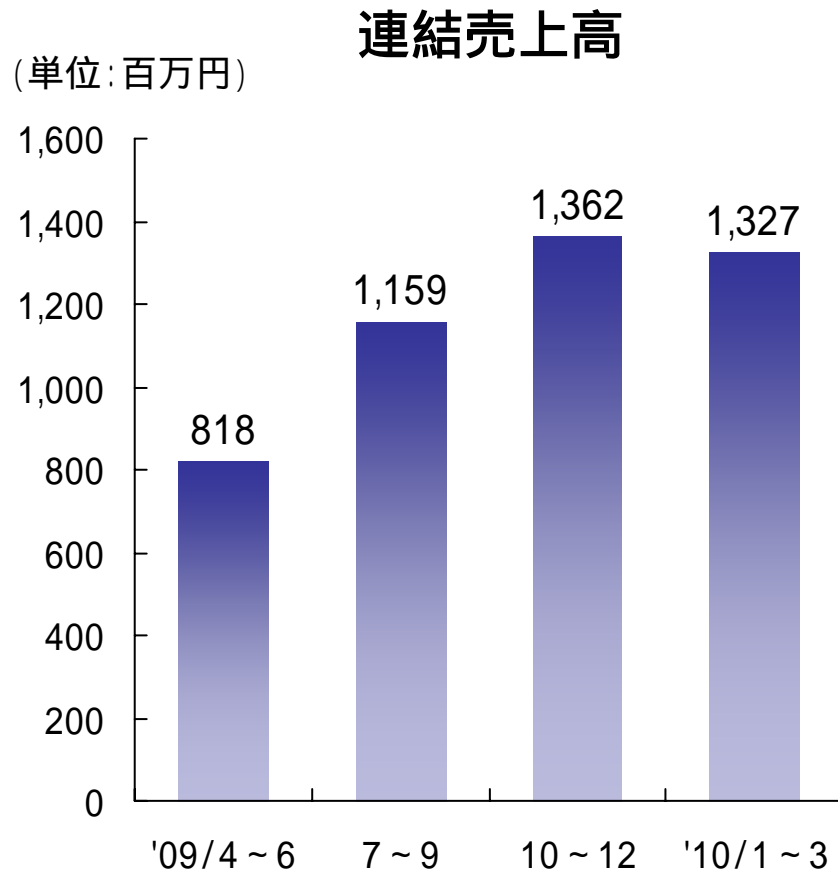
連結利益実績



前期後半以降、受注が回復したものの、前半に自動車関連製品などの減産が影響したことにより減収

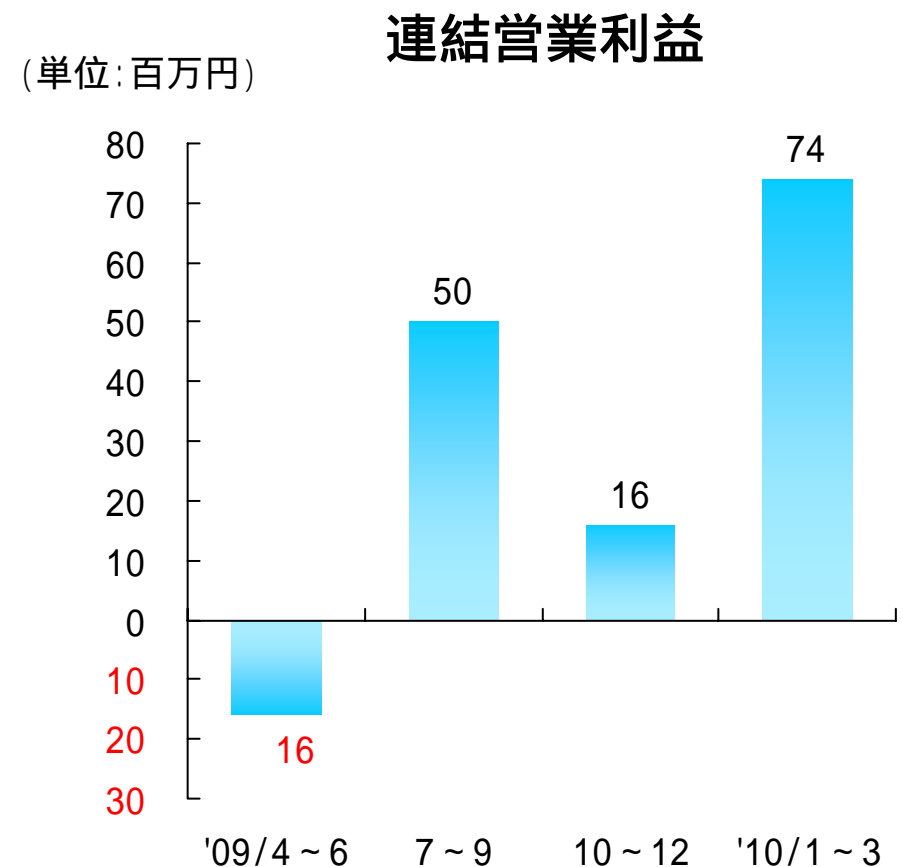
経営合理化策や原価低減策が奏功し増益、黒字回復

四半期会計期間の連結売上高・営業利益推移



第1四半期・・・前期からの自動車向け製品の受注減が続く

第2四半期以降・・・自動車関連製品の受注が回復し始める



第1四半期は売上減のため赤字だが、第2四半期から売上が回復し始め、経営合理化策の効果が出る

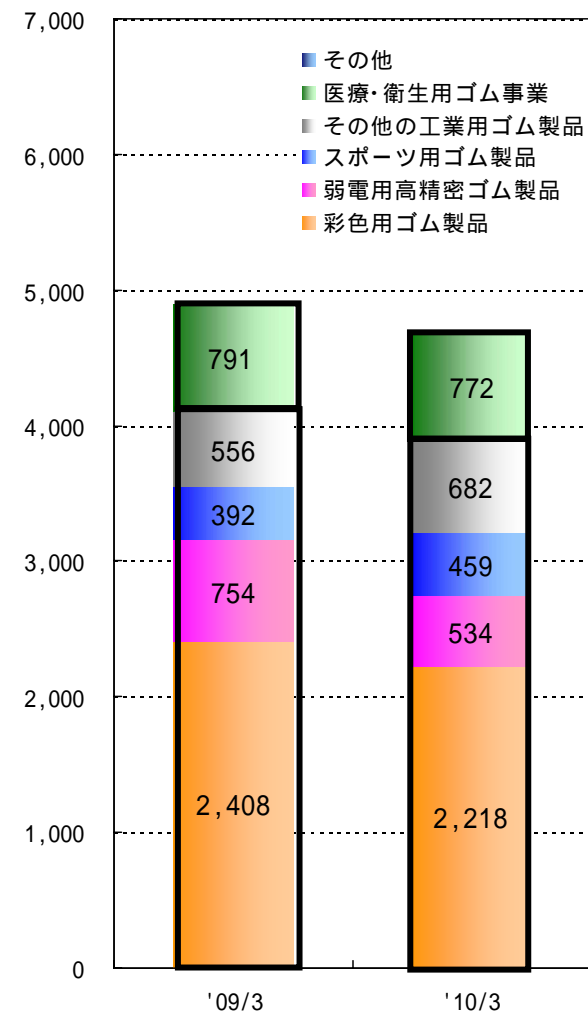
第3四半期は経営合理化策を一部解除したことにより費用が増加したが、第4四半期には生産性向上策が利益に貢献

連結セグメント別決算実績

(単位:百万円、%)

	2009年3月期		2010年3月期		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前期増減率
工業用ゴム事業	4,112	83.9	3,895	83.4	5.3
彩色用ゴム製品	2,408	49.1	2,218	47.5	7.9
弱電用高精密ゴム製品	754	15.4	534	11.5	29.2
スポーツ用ゴム製品	392	8.0	459	9.8	17.1
その他工業用ゴム製品	556	11.4	682	14.6	22.6
医療・衛生用ゴム事業	791	16.1	772	16.6	2.4
その他	0	0.0	0	0.0	93.3
売上高合計	4,904	100.0	4,667	100.0	4.8

(単位:百万円)



彩色用ゴム製品

アサ カラー ランプキャップ
ASA COLOR LAMPCAP

シリコンゴムに着色剤・顔料を配合し、小型電球(ランプ)に被せることで様々な色を出すことができるゴムキャップ。自動車の内装照明の光源向けに採用。



'10/3売上高 282百万円(前期比 11.9%)

アサ カラー レンズ
ASA COLOR LENS

従来の樹脂素材よりも耐熱性と耐紫外線に優れたシリコン材料を用い、集光・拡散の機能をもたせた透明レンズ。情報通信分野や自動車分野、各種センサー向けなど。



'10/3売上高 142百万円(前期比 19.1%)

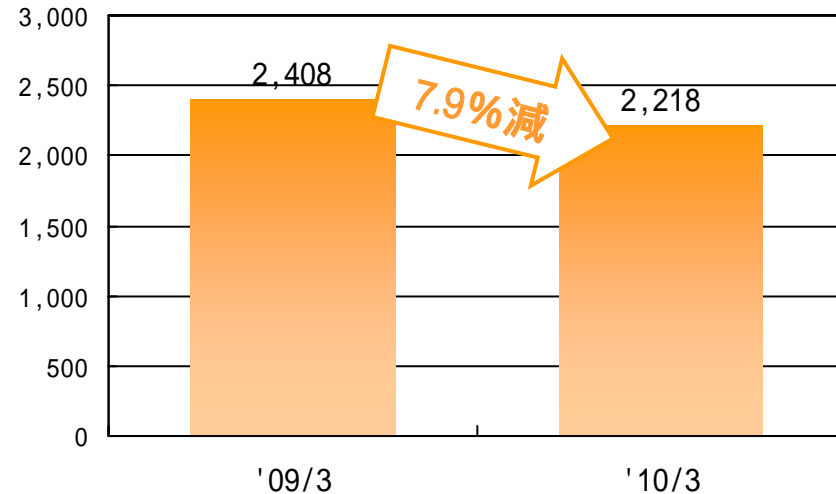
アサ カラー エルイーディー
ASA COLOR LED

蛍光体を配合したシリコンゴムを、青色LEDに被せることで、青色の光を波長変換して色調や輝度を調節し、10000色以上の光を出すことができる製品。自動車内装照明の光源として採用。



'10/3売上高 1,709百万円(前期比 5.5%)

(単位:百万円) 連結売上高推移

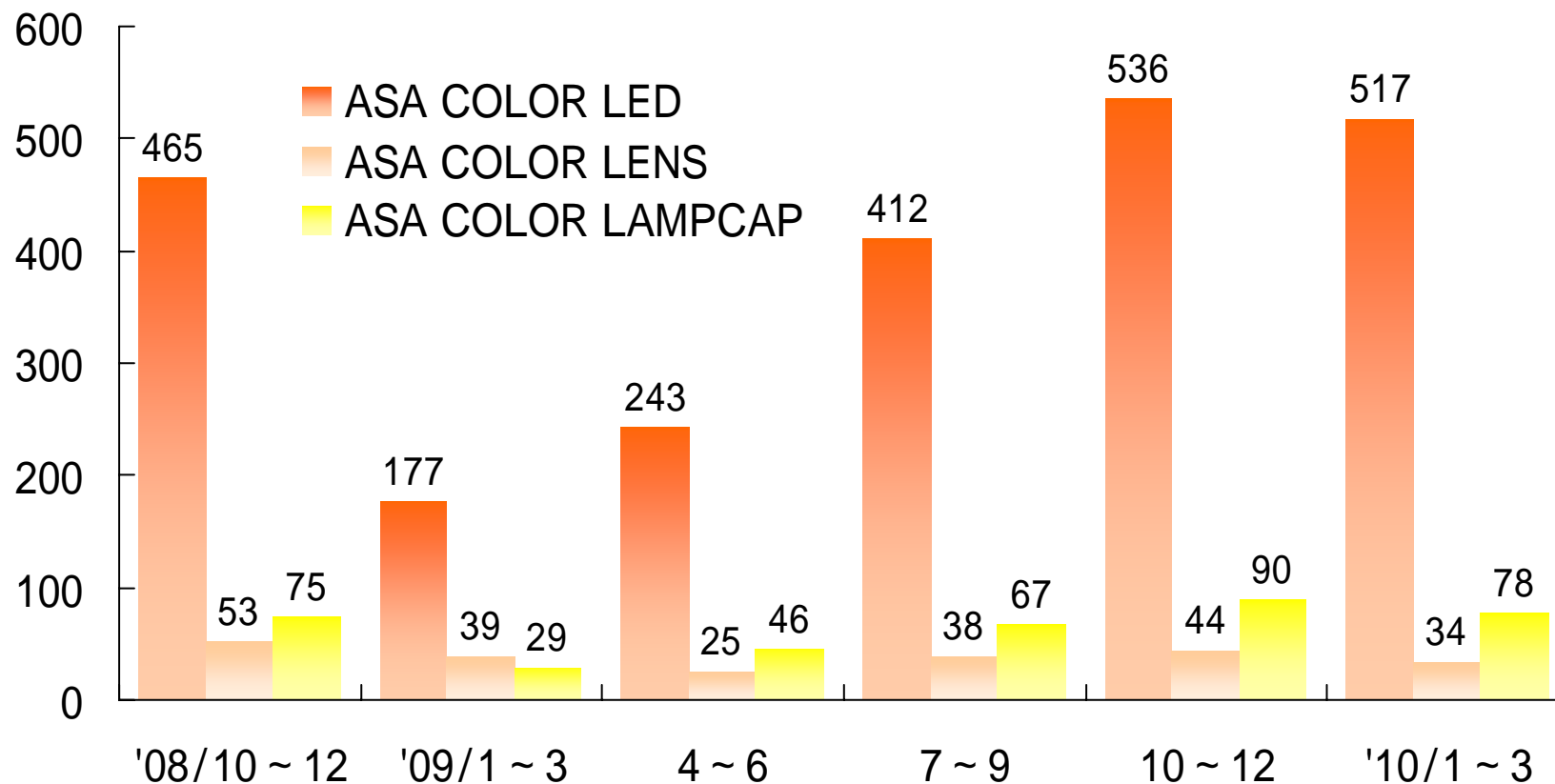


下期から自動車向け受注が回復したものの
 の上期の減少が大きく減収

彩色用ゴム製品

四半期会計期間の売上高推移

(単位: 百万円)

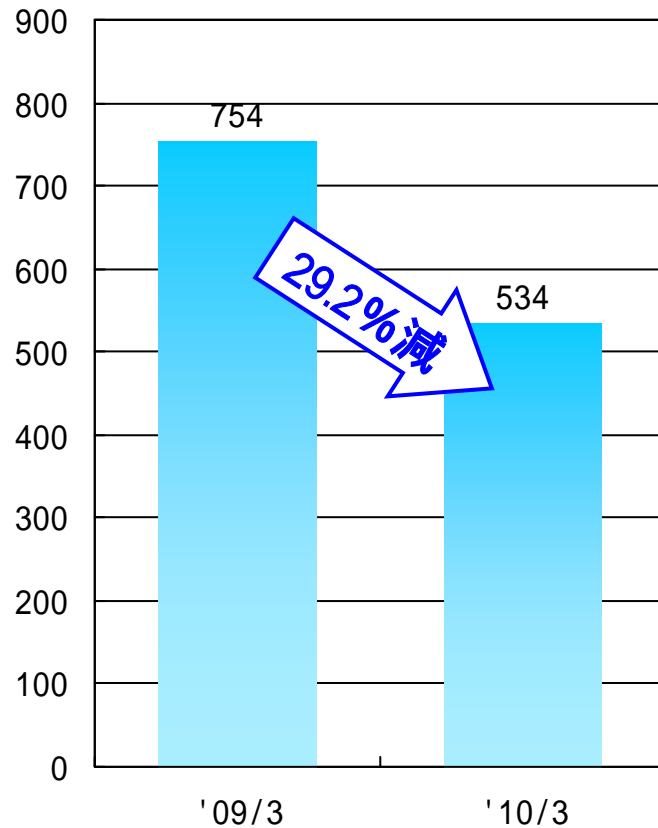


四半期ごとに受注が回復し売上増

弱電用高精密ゴム製品

(単位:百万円)

連結売上高推移



液晶バックライト用ホルダーが、顧客製品の仕様変更のため受注が減少

CCFLホルダー

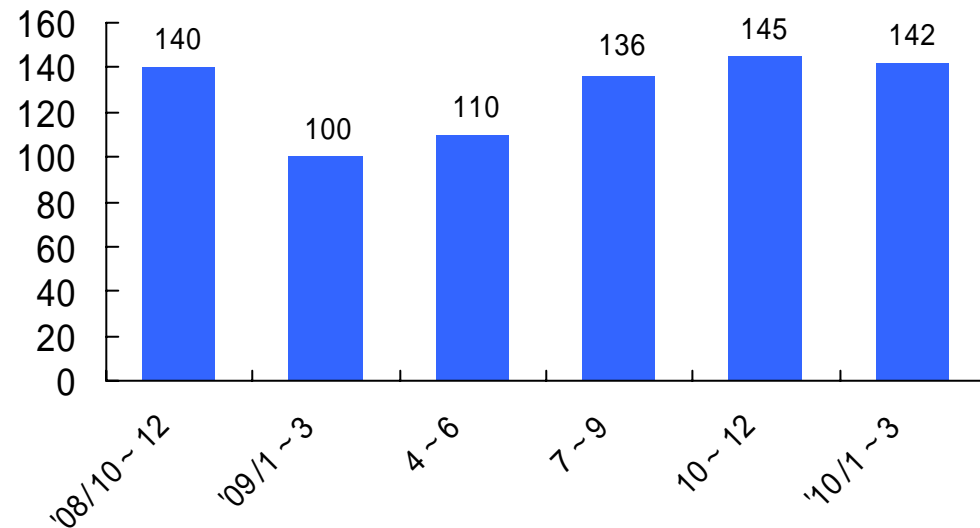
'10/3売上高
83百万円(前年比 72.8%)

難燃性に優れており、液晶ディスプレイユニット用のバックライトの冷陰極蛍光管(CCFL)の保持に使用。



(単位:百万円)

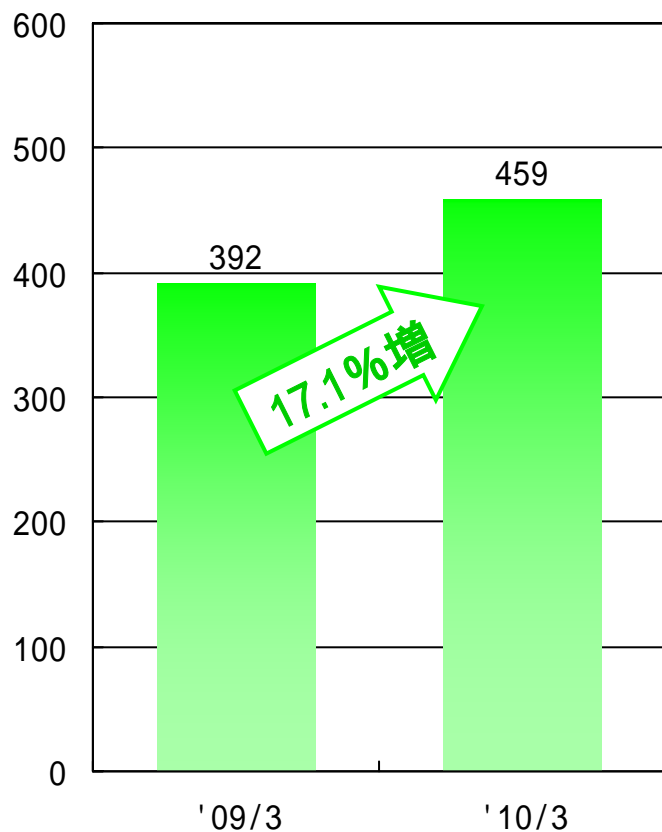
四半期会計期間の売上高推移



自動車向けスイッチ用ラバーなどの受注が回復傾向

スポーツ用ゴム製品

(単位: 百万円) 連結売上高推移

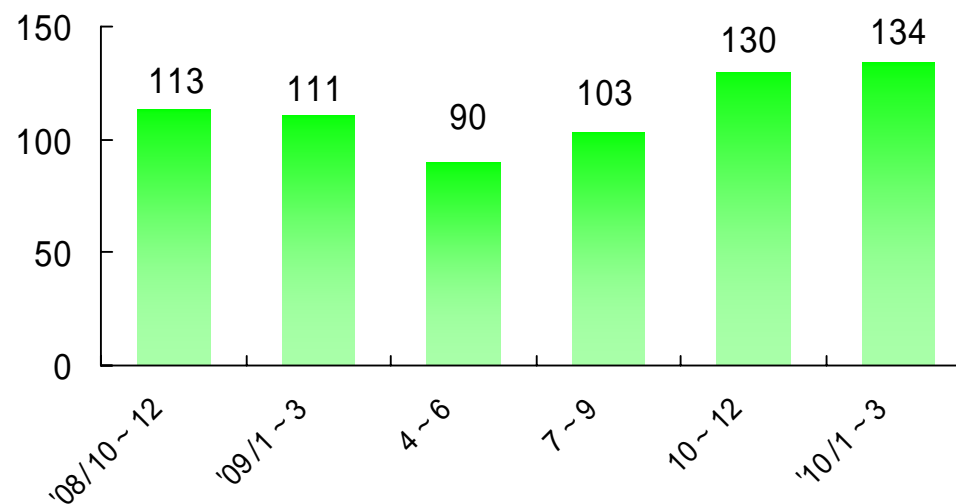


卓球ラケット用ラバー

反発弾性、高摩擦抵抗などを追及した高品質の卓球ラケット用ラバー。



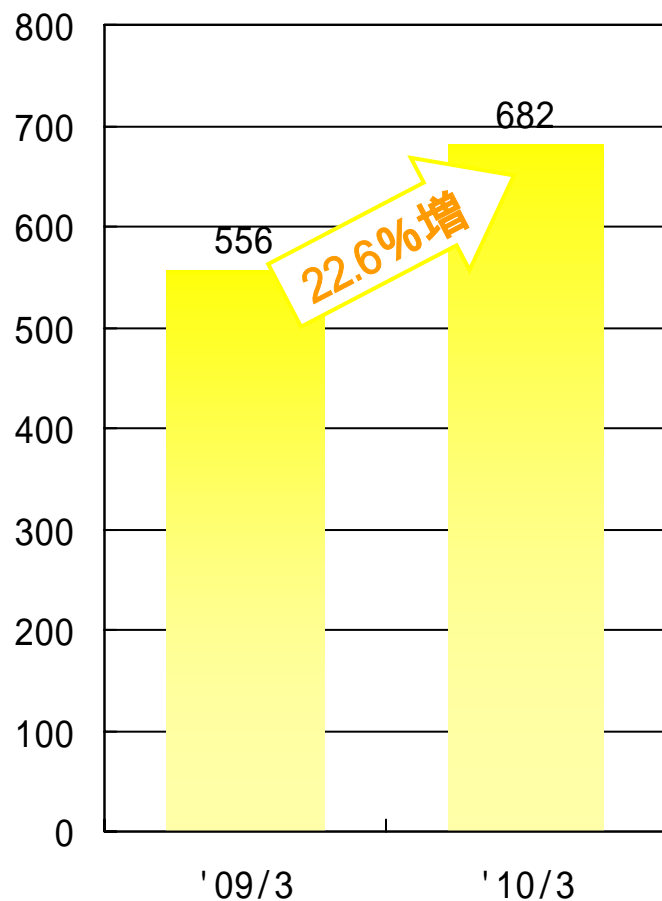
(単位: 百万円) 四半期会計期間の売上高推移



北京オリンピック向けの新製品が、オリンピック後に市場で拡販され受注が増加

その他の工業用ゴム製品

(単位:百万円) 連結売上高推移

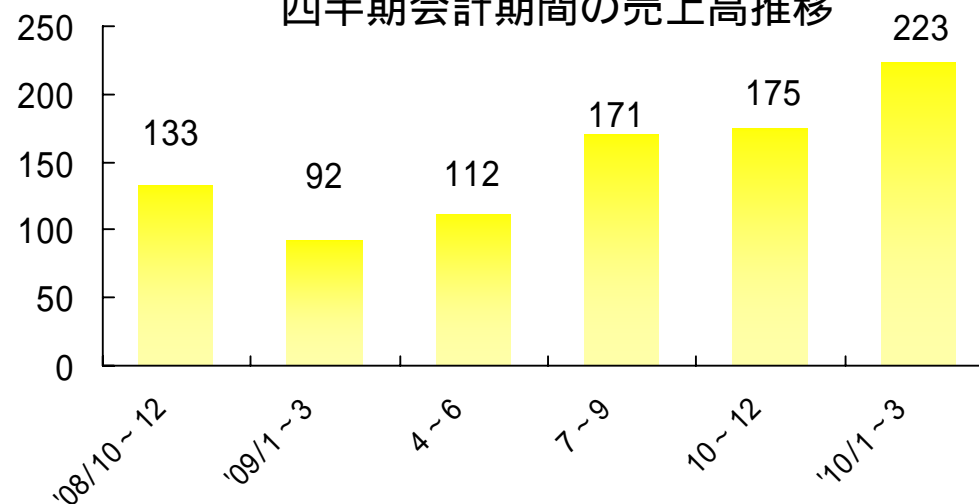


RFID向けゴム製品 '10/3売上高 78百万円

ゴムならではの弾力性と防水性の機能をもち、接着剤を使わない当社独自の接着技術を生かした、RFID向けのシリコンゴム製半導体保護用ゴム製品

(単位:百万円)

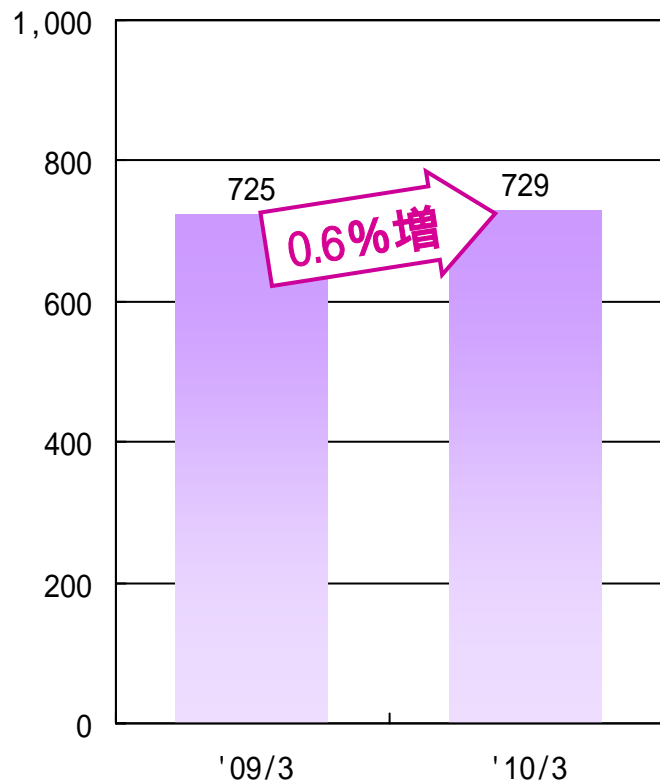
四半期会計期間の売上高推移



第2四半期以降、自動車関連製品を中心に受注が増加

医療用ゴム製品

(単位:百万円) 連結売上高推移

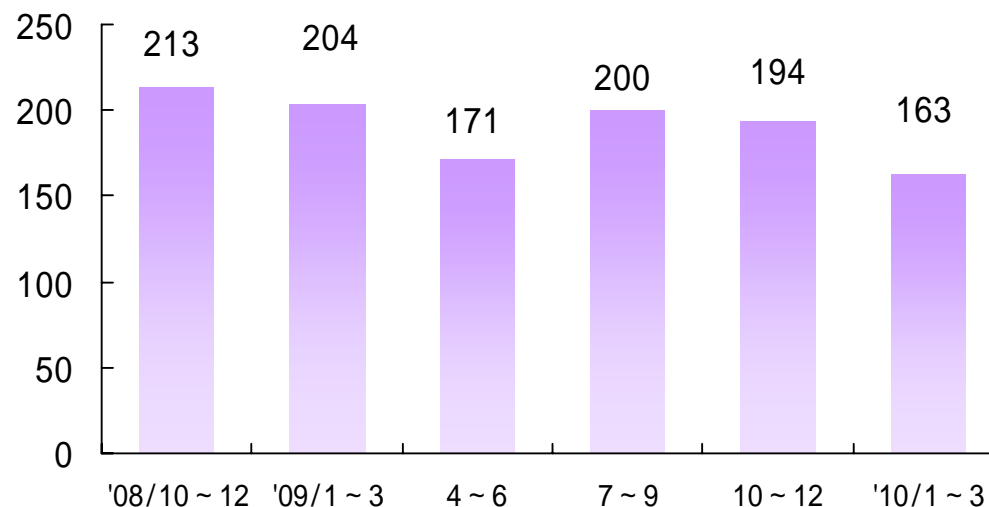


ディスポーザブル用ゴム製品

点滴輸液バッグ用ゴム栓や真空採血管用ゴム栓など、使い捨てのディスポーザブル用ゴム製品。

四半期会計期間の売上高推移

(単位:百万円)



第1四半期と第4四半期は新製品の在庫調整による売上減があったが、受注状況は安定して推移

連結子会社の決算状況

会社名	(株)ファインラバー研究所		ARI International Corp.		朝日橡膠(香港)有限公司	
設立	1987年4月		1999年6月		2005年11月	
資本金	10,000,000円		200,000米ドル		6,000,000香港ドル	
業務内容	ゴム・プラスチック等の研究開発		工業用ゴム製品の販売		工業用ゴム製品の販売 来料加工工場の管理	
研究収入 / 売上高	85,455千円	前期増減率	155,377千円	前期増減率	154,372千円	前期増減率
		14.6%		0.1%		35.2%
経常利益	4,992千円	67.0%	9,057千円	29.9%	18,459千円	-
当期純利益	2,103千円	78.5%	6,532千円	22.6%	18,459千円	-

円換算レート: 1米ドル93.71円、1香港ドル12.09円

香港法人が連続赤字となったため、300万香港ドルを増資

連結貸借対照表の状況

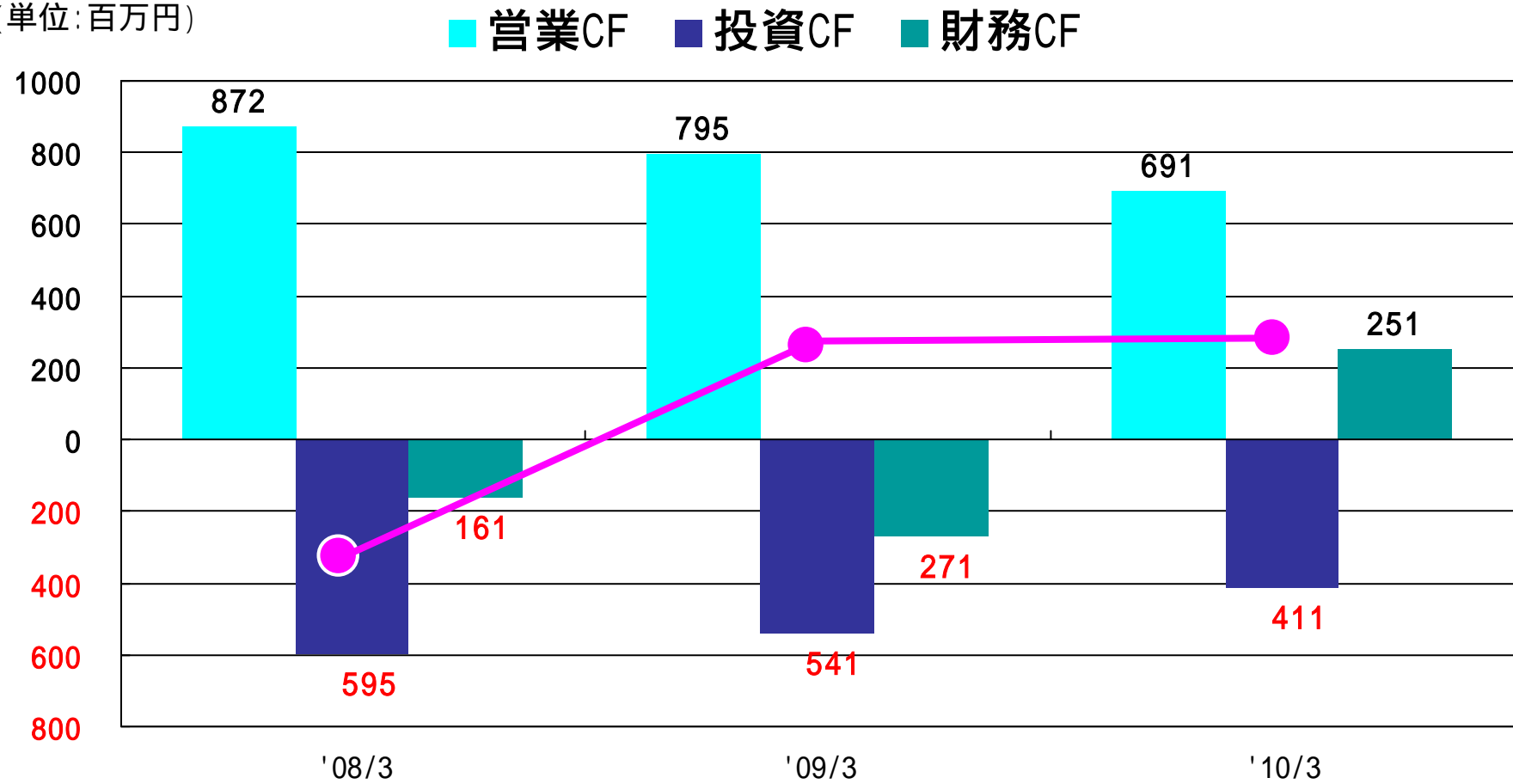
(単位:百万円)

	09/3	10/3	差	主な変動理由
流動資産	2,480	3,660	1,179	・借入の増加により現金及び預金の増加789百万円 ・売上増により受取手形及び売掛金の増加458百万円
固定資産	4,049	3,828	221	
資産合計	6,530	7,488	958	
流動負債	1,482	2,567	1,085	・仕入増により支払手形及び買掛金の増加366百万円 ・短期借入金の増加208百万円
固定負債	2,233	2,060	173	
負債合計	3,715	4,627	912	
純資産合計	2,815	2,860	45	
負債純資産合計	6,530	7,488	958	

手元流動性を確保するため借入を増加

連結キャッシュフローの状況

(単位:百万円)



フリーキャッシュフロー = 営業キャッシュフロー - 投資キャッシュフロー

1 . 2010年3月期 決算の実績

2 . 2011年3月期 決算の見通し

3 . 2011年3月期以降の成長戦略

当社を取り巻く市場環境

自動車



'10/3 '10/9 '11/3

- ・EUを除き受注は回復。
- ・価格の下げ圧力は一層厳しくなっている。
- ・政策効果が切れる今年度後半は不透明。

情報通信



'10/3 '10/9 '11/3

- ・海外向けの需要を中心として回復。
- ・価格の下げ圧力は依然として厳しい。

医療介護



'10/3 '10/9 '11/3

- ・不況の影響は少なく、付加価値製品は堅調。
- ・医療現場の安全性に関わる製品は拡大基調。

一般照明



'10/3 '10/9 '11/3

- ・使用用途が拡大し市場は急拡大。
- ・明るさ向上と低価格化要求は一層厳しくなっている。

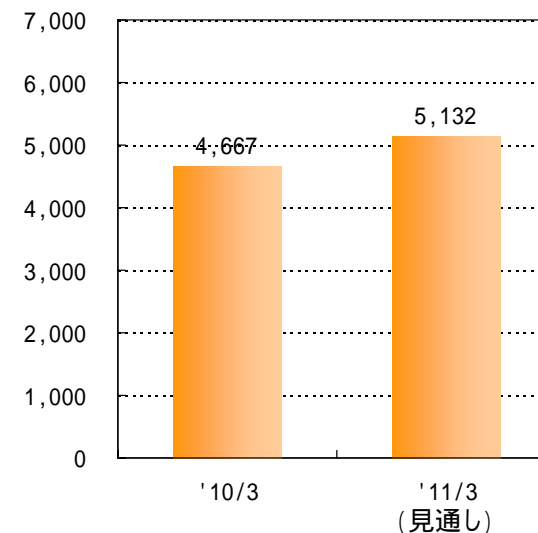
2011年3月期連結決算見通し

(単位:百万円、%)

	2010年3月期実績		2011年3月期見通し		
		構成比		構成比	前期増減率
売上高	4,667	100.0	5,132	100.0	9.9
売上総利益	1,069	22.9	1,293	25.2	21.0
営業利益	125	2.7	229	4.5	83.1
経常利益	91	2.0	149	2.9	62.8
当期純利益	41	0.9	75	1.5	80.5

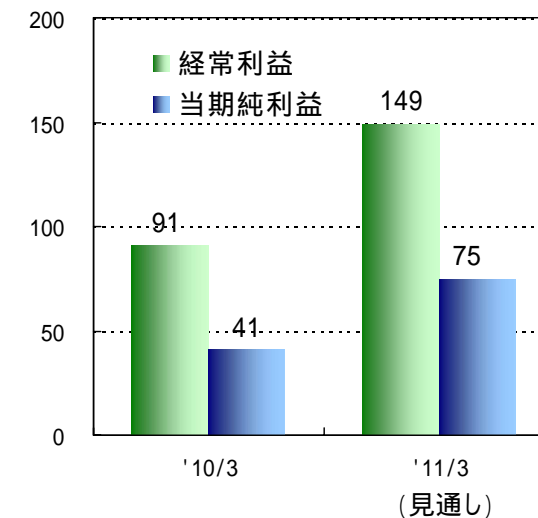
(単位:百万円)

連結売上高見通し



(単位:百万円)

連結利益見通し



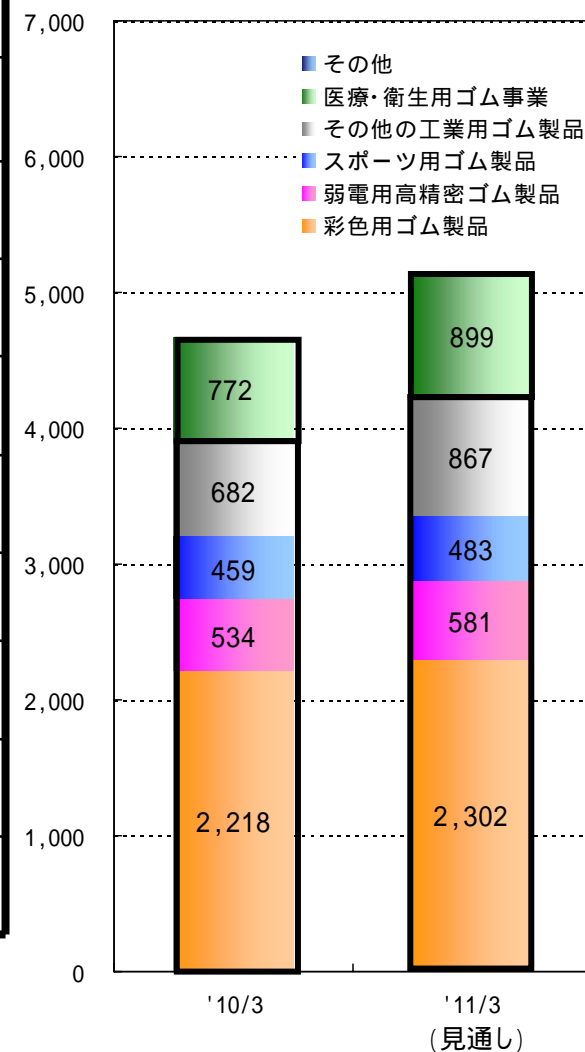
新製品・開発製品の新機種の売上拡大
前期の原価低減策の効果により利益率向上

連結セグメント別売上高見通し

(単位:百万円、%)

	2010年3月期			2011年3月期見通し		
	売上高	構成比	前期増減率	売上高	構成比	前期増減率
工業用ゴム事業	3,895	83.4	5.3	4,233	82.5	8.7
彩色用ゴム製品	2,218	47.5	7.9	2,302	43.2	3.8
弱電用高精密ゴム製品	534	11.5	29.2	581	11.3	8.7
スポーツ用ゴム製品	459	9.8	17.1	483	9.4	5.1
その他工業用ゴム製品	682	14.6	22.6	867	16.9	27.0
医療・衛生用ゴム事業	772	16.6	2.4	899	17.5	16.3
その他	0	0.0	93.3	0	0.0	-
売上高合計	4,667	100.0	4.8	5,132	100.0	9.9

(単位:百万円)



2011年3月期連結設備投資計画

設備投資金額 約785百万円

(単位:百万円)

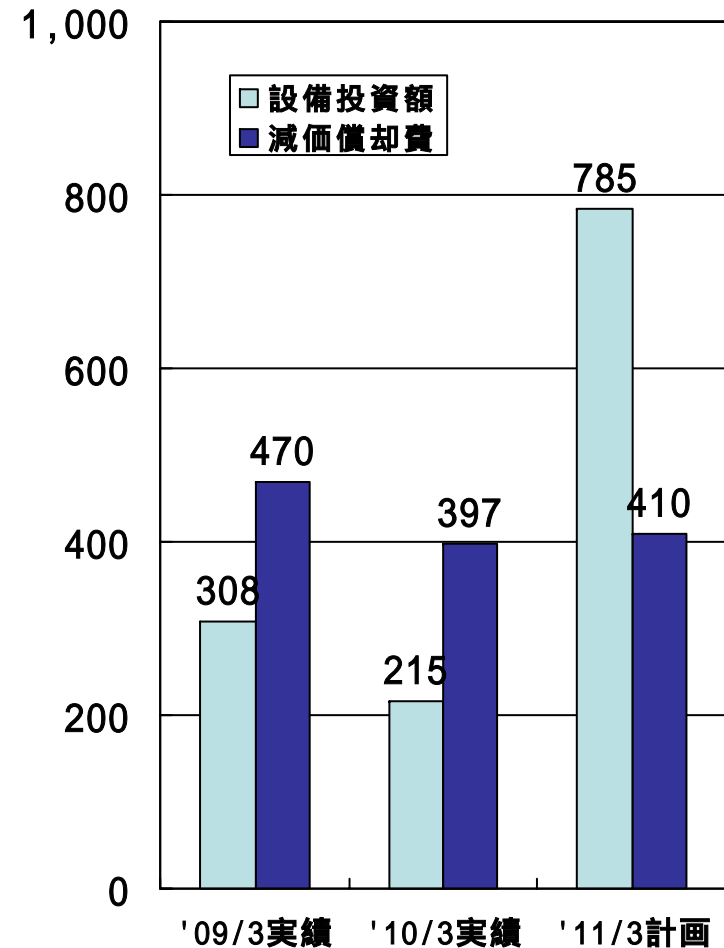
開発製品を中心に積極的な投資を再開

医療用製品の受注増に伴う工場増築を実施

主な設備投資計画

セグメント	投資金額
彩色用ゴム製品	約100百万円
弱電用高精密ゴム製品	約160百万円
医療用ゴム製品	約500百万円
工場増築(建屋)	約280百万円
増築部分への設備	約100百万円

減価償却費 約410百万円



2011年3月期配当計画

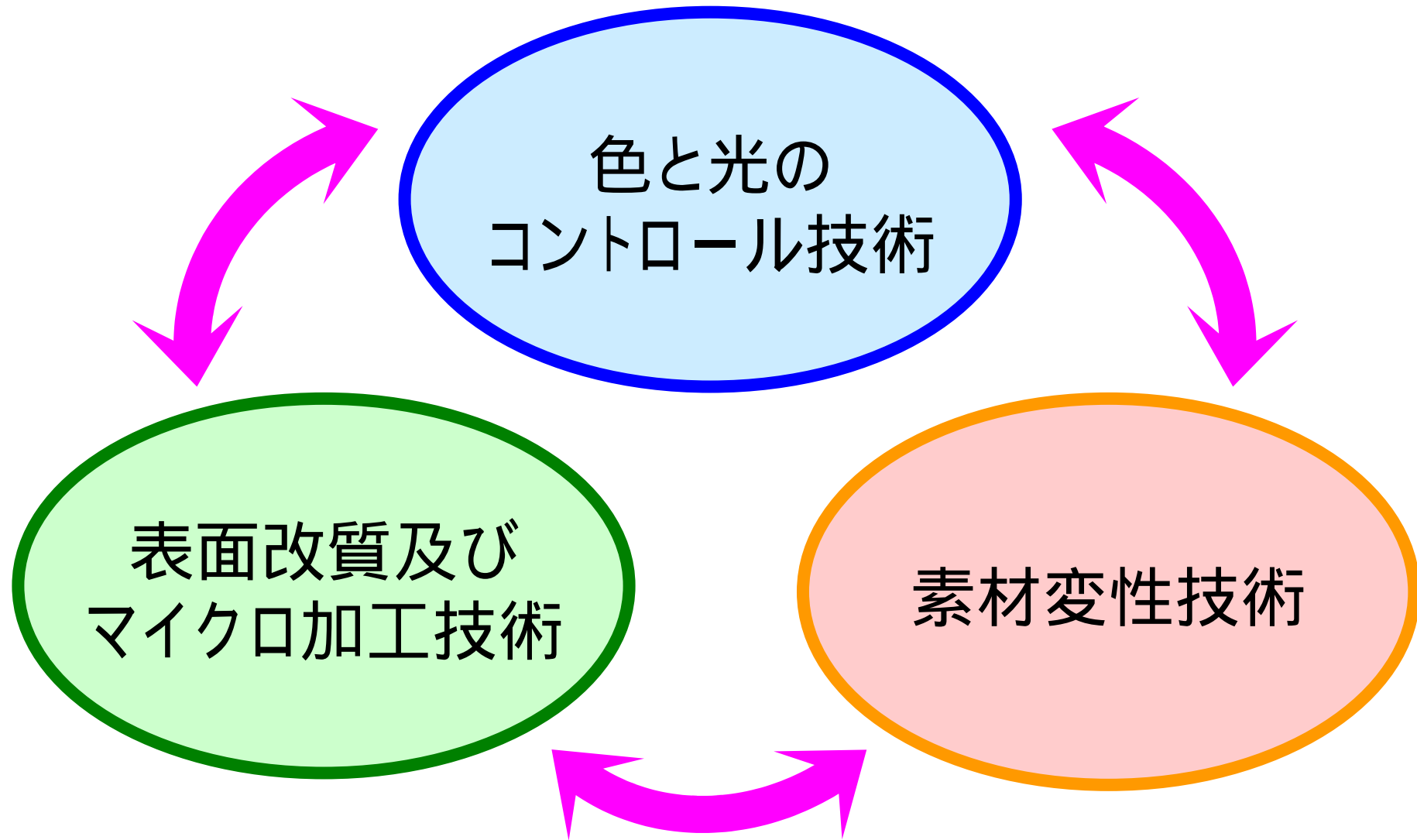
	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期
中間配当	5 円	0 円	3 円 (予想)
期末配当	3 円	5 円 (予定)	5 円 (予想)
年間	8 円	5 円 (予定)	8 円 (予想)

1 . 2010年3月期 決算の実績

2 . 2011年3月期 決算の見通し

3 . 2011年3月期以降の成長戦略

朝日ラバーのコア技術

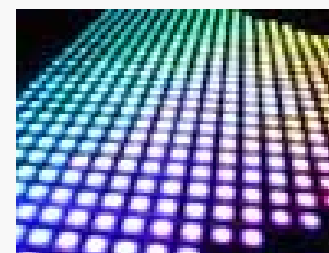


色と光のコントロール技術

色調管理

シリコンゴムに着色剤や蛍光体を配合し、様々な色と光を出すことのできる技術。
ばらつきを調整し、お客様の望む細かい色調を実現します。

ASA COLOR LED



光学設計

透明なシリコン樹脂を材料に、耐熱性、対紫外線性に優れた機能を持ち、集光・拡散といったレンズ機能を実現します。

ASA COLOR LENS



ASA COLOR[®]ブランド

- ・シリコンを材料
- ・独自の配合技術と調色技術を活かした
- ・光デバイスに応用する製品群

日米で商標登録しました

表面改質及びマイクロ加工技術

無溶剤接着

接着剤を使わずに、ゴムとゴムや金属、樹脂を接着させる技術です。接着させる表面を改質処理し、化学反応で結合させます。これにより、有害な溶剤の廃棄処理が不要となり、耐熱性、耐水性もクリアされます。

ゴムならではの弾力性と防水性の機能を持ち、無溶剤接着技術を生かした、RFID向けのゴム製品の量産をスタートしました。

無溶剤接着のメカニズム

表面処理

分子接着剤処理

加圧または加熱接着

ゴム

被着体
(樹脂・金属など)

マイクロ加工

ミリ単位からミクロン単位の表面加工を行うマイクロ加工技術を確立しました。

医療用ゴム製品である薬液混注ゴム栓の薬液注入口の形成と薬液漏れの場合防止や、充電して使用できる二次電池の内圧管理にもこのマイクロ加工の技術が用いられています。

素材変性技術

ナノ・分子レベルの加硫配合

ゴムをはじめとするソフトマテリアルは、素材に添加物を配合することで求める機能を持たせることができます。さらに、ナノ・分子レベルで成形することによりその機能をパワーアップすることができます。



ラバーファントム

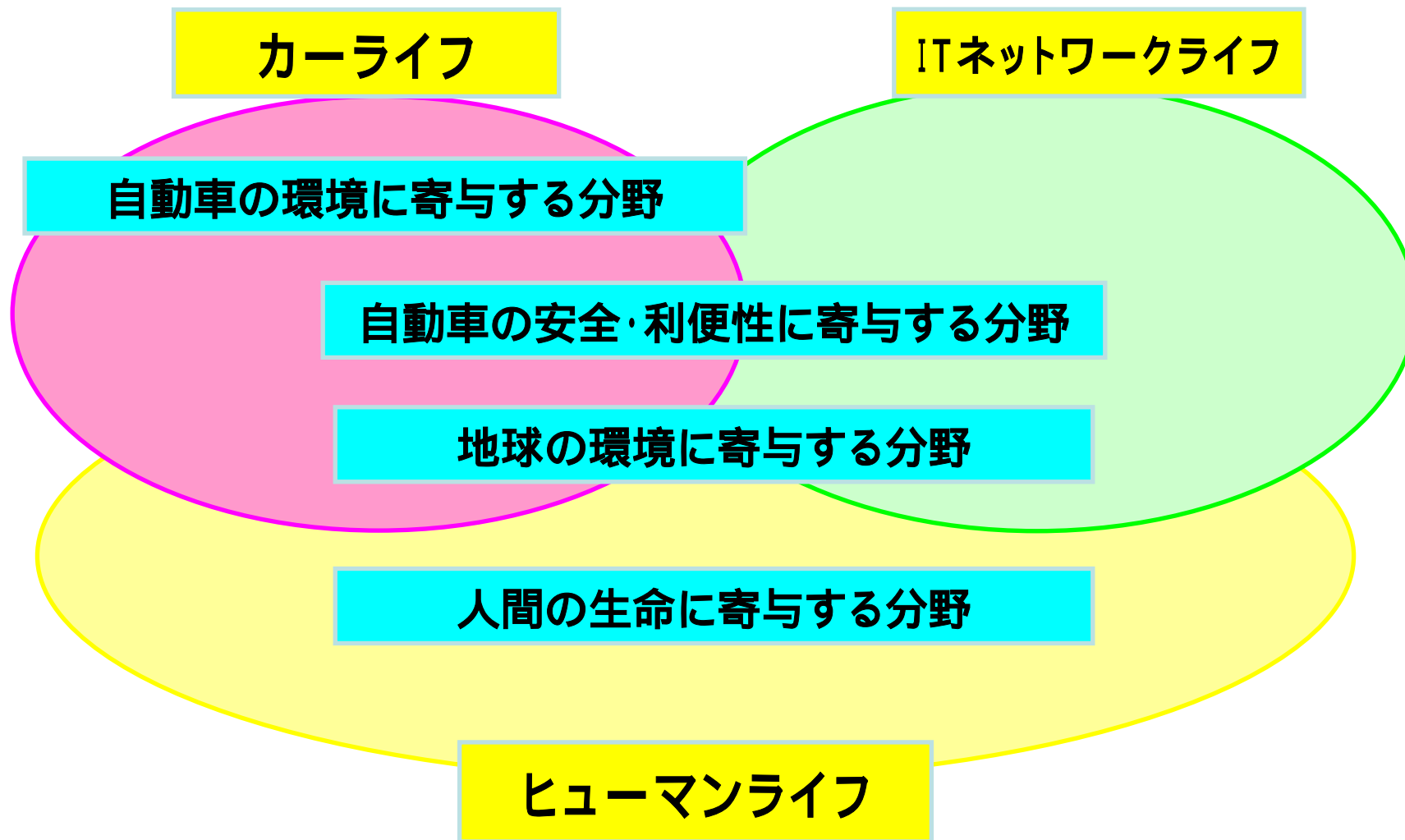
電磁波・電波が人のまわりでどのように広がるかを測定する人体モデルです。人間と同じ電気特性を持たせることができます。



サポラス

化学発泡剤を使わずに衝撃吸収性を持たせ、軽く、通気性に優れた製品です。健康や介護・スポーツ向けに採用されています。

事業分野



これまでの当社のLED事業

従来の当社のターゲット市場 …… 自動車内装照明向け

車載向けLED照明に求められてきた機能

- ・色調ばらつきを低減
(車内インテリアの差別化、ブランドイメージetc)



当社の対応

色と光のコントロール技術を生かし、色調ばらつきを抑えることで評価を得る
シリコンゴムに着色剤や蛍光体を配合し、様々な色と光を出すことのできる技術

ASA COLOR LED = 青色LED + 蛍光体配合ゴムキャップ



色調ばらつきを抑える

今後のLED事業

今後の新たなターゲット市場 … 一般、特殊照明向け

一般照明向けLED照明に求められる機能

- ・色調ばらつきの狭小化
- ・明るさ
- ・演色性
- ・低価格

電球、蛍光灯など
従来照明と同じ精度を求められる

当社の対応

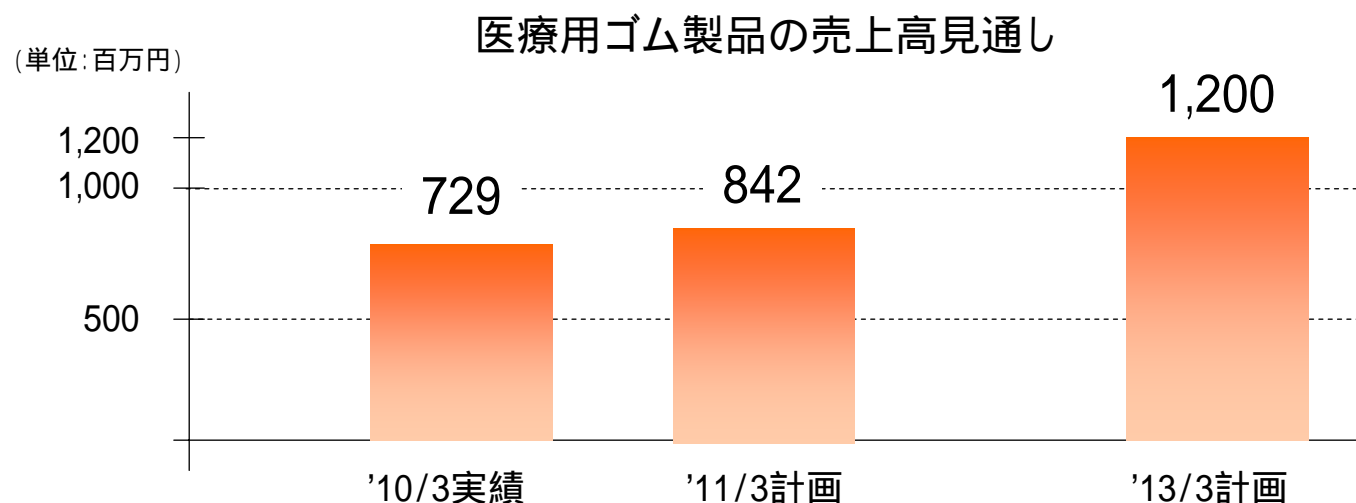
- ・「蛍光体を扱う技術」を蓄積
- ・ゴムキャップ方式ではない
新方式の検証に着手
- ・演色性の個別ニーズを求める特殊照明メーカーへのアプローチで受注獲得へ

医療製品

第二福島工場の増築で生産スペースを1.5倍に拡張

(2010年8月末完成予定)

2012年度に売上高12億円をめざす



表面改質技術の応用展開

ゴムの表面を加工する独自の表面処理技術でシェア拡大を図る

中国事業

「生産地から市場へ」の流れに対応

日本から中国・東莞の来料加工工場に発注し、日本に納品



中国で受注、生産し、中国内のメーカーに納品

取り扱う製品群 自動車・情報通信関連の高機能ゴム製品
(弱電用高精度ゴム製品)

営業、見積り、設計、金型手配、生産の
一気通貫体制の確立を目指す

お断り

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

当資料についてのお問い合わせ先
株式会社朝日ラバー 管理統括部本社管理グループ
TEL 048 - 650 - 6056
E - Mail ir-mail@asahi-rubber.co.jp